

平成30年度七ヶ宿町議会行政視察研修

(視察先：北海道南幌町・倶知安町)

6月26日～28日、北海道への視察を行いました。目的は町の大きな問題である子育て支援と若者定住、そして空き家対策であります。この問題について北海道の倶知安町では空き家対策について、南幌町では若者定住と子育て支援について、たいへん珍しい取り組みをしているということで今回視察研修を行いました。

南幌町ではやはり問題の子育て支援でありました、「子育て世代住宅建築費助成事業」ですが、みどり野団地という北海道住宅供給公社がもっている分譲住宅であり、その団地内に新築するという条件で、価格が半分になります。この団地以外でも土地の転入者は100万円、町内の住民は50万円補助が出ています。最大で200万円の制度です。この住宅建築助成金のほかに特色のある事業ですが、町内の中学生までを対象とした子供一人一人にお米を年間で10キログラム支給するという制度がありました。また、ほかにもユニークな事業として「中学生国際留学プログラムの実施」として英検3級以上を取得した中学生までを対象に2週間カナダへの国際留学をしているとの事でした。スタートして5年間になるそうです。過去4年間で30名の中学生が留学しているとの事でした。やはり町内の子供達は英語の学力が高いそうです。

我が町でも数少ない子供達にも参考になればいいと実感しました。

倶知安町では空き家対策です。北海道の中でも周囲を山で囲まれた豪雪地帯との事でした。そこで、歳をとり一軒家の除雪や家の管理も大変だ。狭くてもいいから中心部の家に住み替えたいとの持ち主の希望であり、また、借りたい若者の希望は子供も大きくなり、狭いアパートより一軒家に住みたい。その両者の願いをうまく叶える制度でありました。内容としては、業者と民間の協力で空き家バンクを立ち上げ、一軒家の持ち主が決まったら空き家バンクに登録し申し込みます。町に補助申請をだせば補助金20万円が支給されます。

また、一軒家を借りたい子育て世帯は戸建家賃を最大3年、月2万円を補助します。また、このような住宅もありますと現状調査済み住宅として町内の高齢者が外の住居に住み替えた後の持ち家を屋根や外壁、水回りなどの状況を詳しく調査した写真付きの住宅を空き家バンクにしていますので賃借先を選び、時には判断材料にもなるようです。



この倶知安町の住み替え支援制度なるものが、七ヶ宿町にも大いに参考になり、行政と議会で討論をしながら将来に向けて取り組む問題であると強く感じてきました。

最後になりますが、この両町を研修して、今後の七ヶ宿のまちづくりに微力ながらお手伝いしていければと思っています。

地方創生研究検討特別委員長

吉野 一夫

南幌町では、定住人口の増加と地域の活性化を図るべく「南幌町子育て世代住宅建築費助成事業」について研修。28年度に事業がスタートし毎年3組から4組が転入に至っている。また倶知安町では「高齢者等住み替え支援事業」が取り組まれ、高齢者が自分の持ち家から集合住宅等の別住宅に住み替える費用(20万円)を助成しようとするもの。だが高齢者向けの集合住宅が少ないこともあり、実績は芳しくないとのこと。極端な人口減少を食い止めるべくそれぞれの自治体が知恵を絞っているが抜本的な対策とはなっていないのが現実である。

地方創生研究検討特別委員会副委員長 梅津 政 志

この度の視察では、南幌町の住宅金融支援機構の融資制度が利用できる住宅建築助成事業や中学生のカナダ二週間留学制度など教育を先行させた定住化政策。倶知安町の高齢者の持ち家への悩みと子育て世代の要望を結びつけた住宅住み替え政策や倶知安型住宅建築への補助。全額公費負担での高齢者世帯除雪ヘルパー派遣事業など、本町でも両町にならい導入したい政策を研修できました。

菅原 研 治

子育て支援については今回視察を行った南幌町、倶知安町の両町よりも当町の方がしっかりしている。しかし、当町の保育所については老朽更新すべきだと感じた。南幌町の事業として英検3級取得者へ2週間の海外留学があるのは魅力的であった。

武藏 重 幸

南幌町は札幌市、千歳市まで約25キロメートルのベッドタウン。少子高齢化が進んでいる。取り組みとして、助成金や空き家バンクなどに情報発信して移住定住に力を入れている。倶知安町は温泉も数多く、観光にも力を入れている。しかし高齢化により後継者問題等が深刻化している。住み替え支援制度を創設し、行政と民間で連携した事業にも力を入れている。改めて我が町から他県庁等への距離は決して遠く無く、冬期間の気温も北海道とは違う。今後も交流人口を延ばし、観光に力を入れた町づくりを推し進めて行くべきと感じた。

吉田 修

南幌町では子育て世代住宅建築費助成事業について研修。28年度から32年度まで5年間の事業計画をしており年間の10世帯を予定している。倶知安町では住み替え支援制度について研修。28年から1件の実績であった。空き家対策は難しいと思った。

今野 三喜男



▲みどり野団地視察



▲保育所視察